

わたしの議会。



小浜町に完成した新鳥羽市水産研究所

とば市議会だより 目次

議案質疑……………	2
常任委員会報告……………	3～5
議員別表決結果……………	6

一般質問……………	7～10
行政視察報告……………	11
きらり輝く人達、他……………	12

議会報告

令和2年度一般・各特別会計及び水道事業会計予算ほか、鳥羽市民文化会館の設置並びに管理に関する条例の廃止についてなど、執行部提案議案32件、発議1件を審議しました。

・議案質疑・

議案第67号 令和2年度鳥羽市一般会計予算

南川則之

市民の幸福実感向上を
目指す事業は

市長

市長ビジョンを含め全ての
事業にしっかりと取り組む

問 市長ビジョン事業が市民の幸福実感向上
を目指す事業なのか聞きます。

答 市長 幸福実感を目指して大きな目標を
掲げました。1つ目は「市民がいきいき
と活躍できる地域共生社会の実現」、2つ
目が「海洋資源を活かした産業振興」で
す。市長ビジョンを含め全ての事業にしっ
かりと取り組むことが、市民の幸福実感
向上につながると信念を持って進めてい
ます。

問 令和2年度鳥羽市一般会計が過去最大と
なった理由は何ですか。

答 市長 市民体育館増築事業を含む中央公
園の整備や消防庁舎の建設など、ハード
事業整備を進めたことによるものです。

・議案質疑・

議案第67号 令和2年度鳥羽市一般会計予算

濱口正久

予算と市長のビジョンとの
整合性は

市長

とれていると確信しています

問 今回の予算について市長の掲げるビジョ
ンと整合性はとれていますか。

答 市長 実現したい目標に向けて市長ビ
ジョン枠を示し、各課から多くの事業が
提案され、私が選定しました。各課は市
民を第一に考え、財政健全化の厳しい取
組要求にも、精いっぱい応えたと思いま
す。全体として整合性はとれていると確
信しています。現状で考えられる最適な
予算案であり、私の描く本市の未来との
認識に変わりはありませんが、廃止した
事業は、既存事業の置き換えや新たな制
度設計によるメニューの創設等、市民への
影響も含めて慎重に検討していきたいと
思います。

・議案質疑・

議案第67号 令和2年度鳥羽市一般会計予算

戸上健

市民サービスカットの前に
市長・議員の報酬からでは

市長

最後の最後だと思っています

問 市長は「2040年の人口減少と少子高
齢社会に耐え得る財政健全化を目指す」
とされましたが、何を定めてどんな数字
ですか。

答 市長 現在、第6次総合計画に併せて作
成するよう指示をしていますので、来年
度の早い段階で第6次総合計画の案とと
もに示したいと考えています。

問 市民サービスのカットの前に、市長を始
め、議員の歳費、報酬、次に市民サービ
スカットとならないと市民は納得するは
ずはないと思いますが、市長の所見を聞
きます。

答 市長 先ほど議員がおっしゃったことは、
最後の最後かと思っています。

令和 2 年度当初予算審査の概要

令和 2 年度予算の規模は、一般会計、特別会計及び企業会計で総額216億6,147万円となり、前年度と比べ12億7,677万5,000円(6.3%)の増となっています。

一般会計では、前年度より10億3,900万円(9.1%)増の124億2,600万円となっています。特別会計では前年度より9,241万円(1.3%)増の総額70億5,180万円となり、企業会計では、前年度より1億4,536万5,000円(7.1%)増の21億8,367万円となっています。

全会計当初予算の規模

(単位：千円・%)

		令和 2 年度	令和元年度	前年度比較	
				増減額	伸率
一般会計		12,426,000	11,387,000	1,039,000	9.1
特別会計	国民健康保険事業	3,054,600	2,949,000	105,600	3.6
	介護保険事業	2,696,000	2,721,900	△ 25,900	△ 1.0
	定期航路事業	604,400	634,300	△ 29,900	△ 4.7
	特定環境保全公共下水道事業	162,000	145,600	16,400	11.3
	後期高齢者医療	534,800	508,590	26,210	5.2
	小計	7,051,800	6,959,390	92,410	1.3
企業会計	水道事業	2,183,670	2,038,305	145,365	7.1
合計		21,661,470	20,384,695	1,276,775	6.3

常任委員会報告

● 各常任委員会に 27 議案が付託されました。

総務民生 委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

議案第83号 第3次鳥羽市地域福祉計画の策定について(令和2年度から令和6年度までを計画期間とする第3次鳥羽市地域福祉計画を策定するため、鳥羽市議会基本条例第8条の規定により、議会の議決を求める。)

問 必要な人に必要な支援が届くように全庁的な取組みが必要であるとうたわれているが、鳥羽市として全庁的な組織を考えているか。

答 地域共生社会の事業の中で多機関による包括的支援体制の構築を昨年度から進めており、鳥羽市としてはまず、ひだまりの相談窓口機能の強化を始めている。

文教産業 委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

議案第82号 鳥羽市運動施設の管理に関する条例の一部改正について（鳥羽市民体育館に新たに整備する会議室及び空調設備の利用料金に関し、必要な事項等を定める。）

問 事務所は別のところへ移転するのか。

答 事務所はサブアリーナへ移転する予定であるが、サブアリーナができるまでは第一小会議室を仮事務所とする。



3月に改修工事が終了した鳥羽市民体育館（サブアリーナは引き続き増築工事を行っています。）

予算決算 委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

毎日「振り返り」を行い、委員間討議によって論点、争点を洗い出しました。委員全員で合意した指摘、意見、要望に関して報告します。

議案第67号 令和2年度鳥羽市一般会計予算
一般会計予算

【移住・定住応援事業】

● 新築への補助金は、100万円から50万円となった。移住元年から151人の移住実績があり、交付税への影響額が一人当たり約10万円であること、それらの人たちが地域で働くことでの経済効果が生まれることも踏まえ、100万円に戻すべきである。本事業に関心の高い若者も多いと聞く、移住を決め

る一要因となりうることから縮小の方向にいかないでほしい。

● 理想ではあるが、新築移住者への補助金がなくても鳥羽に住みたいと思ってももらえるようにならない。鳥羽に住みたいと選んでもらう事業を打ち、新築等への補助金がなくても鳥羽を選んでもらえるようにしなければならない。

対象要件		交付額
区 分	価格要件	
交付対象者が“新築住宅”を取得した場合	左記の住宅の取得価格が 500 万円以上のもの（同住宅と同時に取得した土地の購入費を含む）	50万円
交付対象者が“中古住宅”を取得した場合	左記の住宅の取得価格が 200 万円以上のもの（同住宅と同時に取得した土地の購入費を含む）	25万円

鳥羽への定住を応援します。

【海女文化継承啓発事業、種苗放流事業】

● 日本遺産に認定された海女文化に関わる事業については、認定されて終わりではなく、海女文化継承啓発事業、種苗放流事業などの事業による海女の所得向上や後継者育成のために、もう一度原点に返って充実させるべきである。



【人事交流】

● 総務課の厚生労働省との人事交流は、以前、議会からの提言でも触れたことがあったが、大変良い事業である。

【鳥羽ファンクラブ】

● 企画財政課のふるさと鳥羽ファンクラブは、関係人口の拡大のために良い事業であり、

議員も共にファンクラブの拡大に努めなければならない。そして、鳥羽ファンをつくることが、ふるさと納税にも結びつくことと期待する。

【住宅運営管理経費】

市営住宅のＤＩＹへの補助金は、上限15万円だけであるものの全国的にも珍しい事業であり、評価に値するものである。

【市長によるトップセールス】

市長にはもっとトップセールスを行ってほしいし、市長旅費は足りないぐらいになってほしい。

【漁業と観光の連携事業】

鳥羽市の漁業と観光の連携事業では、漁業と観光の位置づけを再確認し、両産業に力点を置いた取り組みを進めていきたい。

【鳥羽市空き家対策計画】

鳥羽市空き家対策計画は、国の交付金を活用し、空き家の利活用や解体を進め、現在の

745件の空き家をゼロにするよう目指していただきたい。

【附帯決議】

議案第67号令和2年度鳥羽市一般会計予算は予算決算常任委員会において、賛成多数で可決されましたが、この議案に対して附帯決議案が提出され、採決の結果、全会一致で附帯決議を付することを決しました。附帯決議は次のとおりです。

令和2年度鳥羽市一般会計予算に対する附帯決議

議案第67号令和2年度鳥羽市一般会計予算は、市長の思いと市民及び議員が受ける思いが乖離していることが多く見受けられた。今後は、市民目線にたった予算編成とともに、市長の強いリーダーシップのもとに鳥羽市を明るい方向へと導いていただきたい。なお、この度の当初予算案に対し、特に以下の事項について強く求める。

重要施策と考える海女振興策や移住定住策の促進、子育て支援

などに大きな後退がみられた。議会としてはこの方向性に対して疑義があることをここで申し立て、今後はこれらのことに対する予算措置を含めて、育てていくこと。



附帯決議案採決

令和2年度鳥羽市一般会計予算に対する附帯決議

議案第67号令和2年度鳥羽市一般会計予算は、市長の思いと市民及び議員が受ける思いが乖離していることが多く見受けられた。今後は、市民目線にたった予算編成とともに、市長の強いリーダーシップのもとに鳥羽市を明るい方向へと導いていただきたい。なお、この度の当初予算案に対し、特に以下の事項について強く求める。

重要施策と考える海女振興策や移住定住策の促進、子育て支援などに大きな後退がみられた。議会としてはこの方向性に対して疑義があることをここで申し立て、今後はこれらのことに対する予算措置を含めて、育てていくこと。

令和2年3月19日

予算決算常任委員会

討 論

議案第67号 令和2年度鳥羽市一般会計予算

河村 孝	議員	賛 成
瀬崎伸一	議員	反 対
南川則之	議員	反 対
濱口正久	議員	賛 成
戸上 健	議員	反 対
山本哲也	議員	賛 成

人 事

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることに同意
中村 孝 氏

議案番号	議案名	議決日	審議結果	南川則之	濱口正久	瀬崎伸一	片岡直博	奥村敦	河村孝	山本哲也	中世古泉	木下順一	戸上健	浜口一利	坂倉広子	坂倉紀男	世古安秀
67	令和2年度鳥羽市一般会計予算	3月27日	可決	×	○	×	○	○	○	○	○	－	×	○	○	○	○
68	令和2年度鳥羽市国民健康保険事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
69	令和2年度鳥羽市介護保険事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
70	令和2年度鳥羽市定期航路事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
71	令和2年度鳥羽市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
72	令和2年度鳥羽市後期高齢者医療特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
73	令和2年度鳥羽市水道事業会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
74	鳥羽市民文化会館の設置並びに管理に関する条例の廃止について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
75	昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除及び職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例の廃止について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
76	鳥羽市監査委員に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
77	職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
78	鳥羽市手数料徴収条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
79	鳥羽市保健福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	○	○	○	○
80	鳥羽市水産研究所の設置及び管理に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	議長につき表決なし	○	○	○	○
81	鳥羽市営住宅管理条例等の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－		○	○	○	○
82	鳥羽市運動施設の管理に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－		○	○	○	○
83	第3次鳥羽市地域福祉計画の策定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－		○	○	○	○
84	鳥羽市辺地の総合整備計画の策定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－		○	○	○	○
85	定住自立圏形成協定の変更について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－		○	○	○	○
86	指定管理者の指定について(大庄屋かどや)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－		○	○	○	○
87	指定管理者の指定について(寝屋子交流の館)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－		○	○	○	○
88	令和元年度鳥羽市一般会計補正予算(第12号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－		○	○	○	○
89	令和元年度鳥羽市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－		○	○	○	○
90	令和元年度鳥羽市定期航路事業特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－		○	○	○	○
91	令和元年度鳥羽市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－		○	○	○	○
92	鳥羽市道路線の認定及び変更について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－		○	○	○	○
93	令和2年度鳥羽市一般会計予算補正予算(第1号)	3月31日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
94	鳥羽市市税条例等の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
95	鳥羽市都市計画税条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
96	鳥羽市国民健康保険税条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
97	鳥羽市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
諮問1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
発議10	鳥羽市の離島におけるごみ及びし尿等の収集運搬に要する費用負担の軽減を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○

これが知りたい・ここが聞きたい

一般質問



3月5日～9日に6人の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁の概要をお知らせします。

※一般質問、議案質疑の原稿は議員本人の文責です。

日程	議員氏名	項目
3月5日(木)	戸上 健	船津樋ノ山太陽光発電設備建設問題について 気候変動、地球温暖化と本市への影響について
		第6次鳥羽市総合計画の策定について
	濱口正久	防災・減災対策について 新型コロナウイルス対策・対応について 地域医療について
	浜口一利	答志島架橋建設について

日程	議員氏名	項目
3月9日(月)	坂倉広子	子どもたちが将来ひきこもりと ならないための施策について
	山本哲也	SDGsの推進、取り組みについて 行政運営のデジタル化について
	南川則之	大規模ハード整備事業（鳥羽市 水産研究所新築及び鳥羽市民体 育館大規模改修・増築）の利活 用について 太平洋・島サミット開催におけ る鳥羽市の誘致活動について

船津樋ノ山メガソーラー
への地域住民の理解は

市長

理解は進んでいない

事業者は、住民説明会で、5月着工のスケジュール表を参加者に配付しました。市長は、着工可能と判断していますか。

市長 私も周辺住民が了解をしているとは何も聞いていませんでしたので、不思議に感じました。事業者から5月着工は無理であるとの回答を得ていると報告を受けましたので、私もそうだろうなと思ったところです。

問 住民の理解という点で、不安は払拭し、不満は解消されたと認識していますか。

答 市長 現段階では、理解は進んでいるとは思っていませんし、不安も払拭されていると思いません。不満も解消しているとは理解していません。

気候変動非常事態宣言を

市長

今後検討していきたい

問

気候温暖化防止、市民の地域産業に重大な影響を及ぼしますので非常事態鳥羽市宣言をすべきではないですか。

答 市長 三重県の脱炭素宣言に賛同し、県とともにできることから地球温暖化防止に取り組んでいきたいと思っています。SDGsに掲げる特に海の豊かさを守るために、新水産研究所を拠点とした海洋教育や藻場再生活動などの施策を推進していきたいと思っています。今後、市として独立して宣言等をする機会がありましたら、改めて、そのときに検討していきたいと思っています。



温暖化により地域産業に影響を及ぼしている。



戸上 健

新型コロナウイルス感染症の対応は

総務課長

マスクは各拠点避難所への分散配備に向けた検討を行っています

問 新型コロナウイルス感染症について、危機管理としてどのような対応をしましたか。

答 総務課長 防災危機管理室では、手指消毒液を市の公共施設の入入口付近に配備できるように準備し、順次各課に配付してきています。課長級の会議では、状況の確認を行うとともに、各課に対し、情報集約の依頼と感染拡大予防に向けた行動の啓発に努めるよう周知をしています。マスクについては、新型コロナウイルス感染の長期化や万が一の災害時には避難所での対応に充てるよう、現在約8万4000枚を準備しています。各拠点避難所への分散配備に向けた検討を行っているところです。県が先日高齢者施設へのマスク配布を決めたことから、市としても状況に応じて追加配布をするなど、柔軟に対応していきたいと考えています。

答 志町が無医師になることへの市長の考えは

市長

何らかの形で診療所のようなものがあるのが望ましい

問 答 志町が令和2年3月で無医師の状態になります。市長の考えを聞きます。

答 市長 私の思いとしては、答志地区にとってはなるべく近くに診療所があることが一番安心できることであると思っています。私個人としても何らかの形でそのようなものが答志地区にあるのが望ましいと思っています。



隣町にある島内唯一の診療所



濱口正久

答志島架橋早期実現を国と県へ

市長

私が出向いて要望活動を重ねていきたい

問 三重県離島振興計画に架橋の位置付けがあってもいいはずですが。具体的な県の動きはありますか。

答 企画財政課副参事 平成27年から現在まで、離島架橋をテーマとした協議等は行われていません。

問 県議会と知事への要望活動を再度進めて行く考えはありますか。

答 企画財政課副参事 平成21年に中村勝元県議が中心となって架橋の早期実現の請願が全会一致で採択されました。今後は、要望活動が必要であると考えています。

問 これまで県から国への要望はあったのですか。

答 企画財政課副参事 県から国への架橋建設の要望は実施していません。

問 答 弁に大変落胆しています。県と一緒に国交省に要望はできませんか。企画財政課副参事 鳥羽市も県と

一緒に国への要望を望んでいますので県と協議していききたいと思います。

問 架橋建設の事業費はどれくらいですか。

答 企画財政課副参事 224億7700万円※です。国が3分の2を、残り3分の1を基本的には県が負担することとした。

問 他市では、市長の熱心さが架橋実現の大きな原動力となっていますが、市長の思いを聞きます。

答 市長 国・県へは、私が出向いて要望活動を重ねていきたいと思っています。

※平成24年度の費用便益分析による。



答志島架橋予想図



浜口一利

ひきこもりとならないための施策は



坂倉広子

市長

支援体制の構築に努めていきたい

問 将来的にひきこもりとならないために教育の観点から何か取り組んでいますか。

答 教育長 心の教育相談員やスクールカウンセラーの配置、教育支援センターHARPにおいて不登校児童・生徒への対応をさせていただき、関係機関との連絡を密にしながら協議しています。

問 小中学校のときに不登校であった児童生徒への義務教育修了後の対応はどうしていますか。

答 教育長 小中学校での記録を進路先につながるのと同時に総合子ども相談ほっぴ等で相談を受けていただく等、福祉との関連を強めながらケアをしていく体制をとっています。

問 ひきこもりの未然防止、早期発見、支援等の体制をどのようにしていると考えていますか。

答 市長 第3次鳥羽市地域福祉計画



田原市ではおおそ40歳未満の不登校やひきこもり、ニートなどの相談窓口を開設しています。

の策定の中で支え合いの地域づくりというのを基本目標に掲げ、相談支援体制の構築を推進していくとしています。田原市の子ども・若者支援地域協議会の設置や活動事例にありましたアウトリーチの取り組み、三重県子ども・若者支援地域協議会への関わり方なども研究しながら、支援体制の構築に努めています。

SDGsに対する認識は



山本哲也

市長

地域共生社会の理念にも通ずるものです

問 市長のSDGs※に対する認識を聞きます。

答 市長 誰一人取り残さないという理念は、市民の幸福実感向上を目指して掲げてきた地域共生社会の理念である「あらゆる市民が役割を持ち、誰もがいきいきと活躍する」ことにも通ずるものです。

問 SDGsの取組を進めていく上で欠かせないのが対話の場だと考えますが、いかがですか。

答 市長 コミュニケーションのツールとして使えるというのは私も常々思っています。単体で行うより複数の人が関わったほうが、同じ結果が出たとしても価値があると思っています。そのつながるための仕組みやつなげる役割を行政が担っていると思っています。

自治体DXの認識は

市長 判断するには至っていません

問 多くの自治体がDX※に取り組み始めていますが、市長の認識を聞きます。

答 市長 技術の活用と制度設計の両方をよく考えなければいけないのだと感じています。個々の取組においても有効だとは思っていますが、デジタルテクノロジーを全般にとが、優先して進めるデジタルトランスフォーメーションまで視野に入れて取り組んでいくのかどうかというところまで判断するには至っていない状況です。

※SDGs：2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称。

※DX (デジタルトランスフォーメーション)：デジタル技術で浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること。
・既存の価値観や枠組みを根底から覆すような革新的なイノベーションをもたらすもの。



SDGsを構成する17のゴール

新水産研究所を活用した 児童生徒への海洋教育は



南川則之

教育長

全国に胸を張れるような 海洋教育を展開したい

問

海の豊かさを守るため、小学校の野外教育や新水産研究所を活用して児童生徒への海洋教育をどのように進めていくべきか、教育委員会の考え方を聞きます。

答

教育長 鳥羽市には海洋教育として前に出せるものが点在している形です。水産研究所が設置されるに当たり、強化していきたいと思っています。1点目は、鳥羽の海を背景にした海洋教育のカリキュラムをしっかりと作っていききたいと思っています。小・中・高校等の系列の縦断的なカリキュラムを整理して、観光プログラムとして出せるものを作っていききたいと思っています。2点目は、鳥羽市海洋教育推進委員会を立ち上げたいと考えており、全国に胸を張れるような海洋教育を展開していきたいと思っています。



新鳥羽市水産研究所

答

問

メインアリーナとサブアリーナについて今後工事する箇所はありますか。

建設課長 長寿命化工事を含めて5年程度で改修を行う箇所は、体育館のフロアの張替え、体育器具の改修、空調設備の設置、屋内消火栓用の発電機の取替え、浄化槽の改修等、総額で2億円程度を想定しています。サブアリーナの増築の未整備部分は、舞台照明や舞台機構装置等、不完全な部分があるので、相当額必要であると考えています。

意見書の その後

3月31日の本会議において「発議第10号 鳥羽市の離島におけるごみ及びし尿等の収集運搬に要する費用負担の軽減を求める意見書の提出について」を全会一致で可決しました。その後、議長、副議長、発議第10号の提出者である浜口一利議員と地元選出の野村保夫県議会議員同行で4月1日、三重県知事に意見書を提出しました。



(左から 野村県議、鈴木三重県知事、木下議長、山本副議長、浜口議員)

▶ 委員会行政視察

常任委員会では、次のとおり行政視察を行いました。

文教産業常任委員会

視察日

2月17～18日

視察先

兵庫県養父市

(国家戦略特区の取り組みについて)



京都府久御山町

(のってこタクシーの取り組みについて)



今年度から総務民生常任委員会及び文教産業常任委員会の行政視察報告を本会議で行うこととなりました。報告を行った令和2年3月31日本会議の映像はYouTubeでご覧いただけます。「鳥羽市議会 YouTube」で検索してみてください。



本会議で行った報告の内容や各議員が作成した報告書は鳥羽市議会ホームページで公開しています。

鳥羽市議会トップページから「議会基本条例・議会改革・IT化」のページへ進み、ページ下部「行政視察報告書」をご覧ください。

<http://www.city.toba.mie.jp/gikai-shomu/gikaikihonjyourei.html>



きらり輝く人達

今、きらりと輝いている鳥羽市出身の人達にスポットをあてる企画です。

プロフィール

日本郵便株式会社 郵便・物流事業企画部 切手・葉書室 課長
切手デザイナー

たまき あきら
玉木 明 さん

1968年生まれ。愛知県立芸術大学卒業後、旧郵政省に入省。現在は切手デザイナーのリーダーを務める。東日本大震災寄附金付切手や伊勢志摩サミット切手、東京2020オリンピック・パラリンピック関連切手（寄附金付2回（2019）、聖火リレー（2020））等をデザインし、これまでに心に残る数多くの切手を手掛けている。

最新作として、尾形光琳の紅白梅図を題材とした切手趣味週間が発行されています。（4月20日（月）発行）

「日本でわずか8人しかいない切手デザイナーですが、きっかけは何だったのでしょうか。」

大学の先生から「郵政省で切手のデザイナーを募集してるぞ」と、声を掛けていただきました。当時は景気も良く、デザインの世界も華やかで、ぼくは広告やパッケージのデザイナーを目指していましたが、「長く残るものもいかもしれない」と思い、試験を受けました。もうすぐ勤続30年ですが、ここまで続くと思っていませんでした。

「魅力あるデザインを創られてきた玉木さんにとって、現在の鳥羽市はどのように映っていますか。」
海・山で遊び、田畑の脇を通って通学するという鳥羽にいた頃の当たり前が、東京にはありません。この「当たり前」な環境が鳥羽の良いところですね。進学・就職と鳥羽から遠くなっていったわけですが、大人になるにつれ自分の感性はこの鳥羽で育まれたと実感するようになりました。

「最後に、鳥羽市民にメッセージをお願いします。」
人には年を取ったからこそわかることがたくさんあると思います。人の温かさやありがたさに気付いたり、つらかった思い出が人生の良い糧であったと思えたりすることも度々です。ふるさとも、遠く、そして長く離れてみてわかることがあります。そういう意味で、ふるさとをまた「人」なんだと思います。
「鳥羽さん」これからも元気でいてください。また帰ります。

編集後記

わたしの議会。（とほろ市議会だより）第171号をお届けします。
3月議会の各常任委員会報告、一般質問、質疑等、多くの内容を掲載しております。今回の令和2年度当初予算審査は例年よりさらに時間を要する審査となり、予算決算常任委員会としては初めて、附帯決議の提出となりました。内容を5ページに掲載しておりますのでご覧ください。

記 奥村 敦

広報広聴委員会	委員長	山本哲也
	副委員長	濱口正久
	委員	南川則之
	委員	奥村 敦
	委員	河村 孝
	委員	木下順一
	委員	浜口一利